

海上の森自然環境保全地域維持管理事業について

1 シデコブシの保全

・海上の森のシデコブシは、周辺樹木の生育が進んだことにより日照不足となるなど、開花や結実が行われにくくなり、その生育が懸念されていた。

・そこで、平成19年度から平成23年度までの間、屋戸川・寺山川野生動植物保護地区の一部区間において、周辺樹木の除間伐による光環境改善の調査を名古屋大学へ委託し、シデコブシの保全手法について調査し、手引きとして取りまとめを行った。

・これを基に、当該保護地区においては、平成24年の秋（11月7日）から社会貢献活動（CSR）に取り組む大和リース株式会社名古屋支店と協働して、名古屋大学の指導のもと周辺樹木の除間伐を行っている（平成24年11月1日に県と同社で作業協定を締結。直近では平成25年4月10日に実施。次回は平成25年11月6日に予定）。

・次年度以降も同様の保全活動を春（4月頃）と秋（11月頃）に実施していく予定である。



シデコブシ保全活動の様子

2 スミレサイシンの保護

・スミレサイシンの生育地（四ツ沢北東部野生動植物保護地区）において、平成21年度に竹林の除伐等を行ったが、その結果、日照が良くなり、チヂミザサ等の雑草が繁茂してしまった。

・このため、平成22年度から海上の森の会と協働して除草作業を行っている（直近では平成25年9月6日に実施）。

・来年度も同じ除草作業を9月上旬に実施し、その後の経過を見ながら、順応的な管理に努めていく予定である。



スミレサイシン保全活動の様子

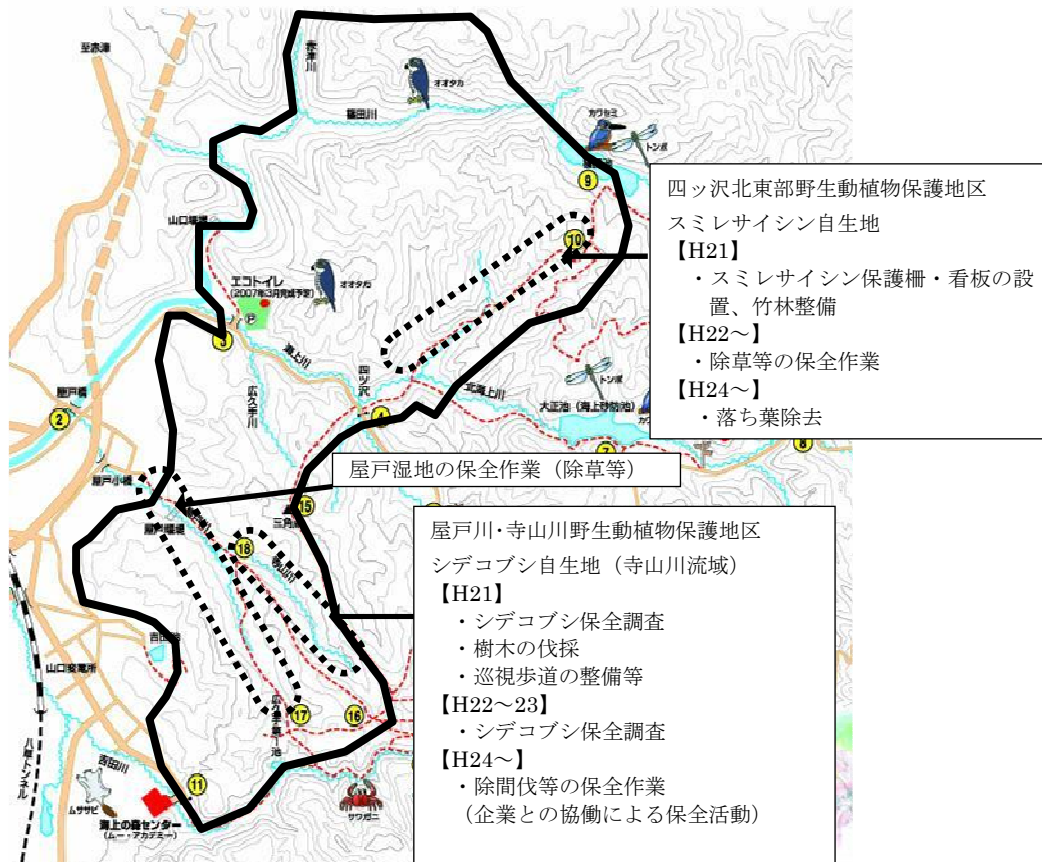
3 湿地の保全

・屋戸川流域の湿地について、遷移が進み、貧栄養湿地としての特性が失われるおそれがあったため、海上の森の会と協働してアシやヌマガヤなどを除去している（直近では平成24年12月13日に実施。次回は平成25年12月に予定）。

・次年度も同じ作業を12月頃に実施し、その後の経過を見ながら順応的な管理に努めていく予定である。



湿地保全活動の様子



図：海上の森自然環境保全地域における希少種保全対策